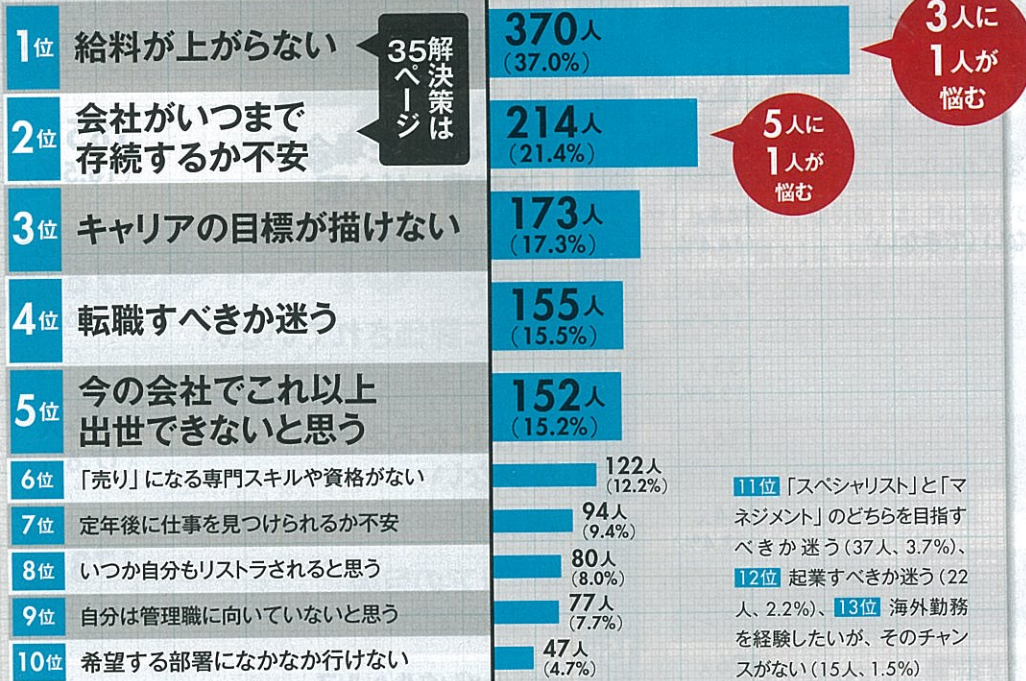


キャリア についての悩みランキング10



最大の悩みは「給料が上がらない」こと
「会社が潰れるかもしれない」が続く

① キャリア

3つのポイント

① 老若男女が「給料に不満」

3人に1人が「給料が上がらない」悩みを持つ。すべての世代の男女で1位だった。

② クビどころか「会社が消える」ことを不安視

将来への不安は今や、2位の「会社の存続」を危ぶむレベルに達し、8位の「リストラの不安」の2倍以上に。

③ 何を頑張るべきか分からない

不満や不安は強いが、「何を」「どう」頑張ればいいのか分からず、「キャリアの目標が描けない」(3位)。

大企業も安心できない時代に



経営不振のシャープは、台湾の鴻海(ホンハイ)精密工業の傘下に入った。写真は、発表会見で頭を下げる高橋興三社長。

キャリアの最大の悩みは、**1位「給料が上がらない」**ことだ。すべての世代の男女でトップになり、3人に1人が悩んでいる計算になる。**5位「今の会社でこれ以上出世できないと思う」**という声も強く、キャリアに対する「満たされない思い」が浮き彫りになった。

かといって、今の会社を思い切った飛び出して、新天地を目指すほどの「覚悟」はない。**4位「転職すべきか迷う」**というのが実情

だ。現代のビジネスパーソンはキャリアに対して、「煮え切らない気持ち」を抱えている姿も見えてきた。

アンケートからは、将来に対する強い不安もうかがえる。5人に1人が、**2位「会社がいつまで存続するか不安」**と回答。特に注目すべきは、**8位「いつか自分もリストラされると思う」**という悩みを、すべての世代で2倍以上の差をつけて上回った点だ。

景気が思ったように向上かない中で、多くの人が「自分のリストラの心配どころか、「会社ごとなくなるかもしれない」というレベルの、将来に対する強い危機感を抱いている」。人材コンサルタントの佐藤文男さんは、「シヤープや東芝といった安定の代名詞とも言える大手企業が相次いで経営難に陥ったことが、「明日は我が身」という不安を煽っている」と分析する。

3年後
転職する人、
起業する人、
会社に残る人

佐藤文男さん Fumio Sato

人材コンサルタント。ヘッドハンター。総合商社、証券会社、メーカーなどを経て、2003年に佐藤人材・サーチを設立。「3年後、転職する人、起業する人、会社に残る人」(クロスメディア・パブリッシング)、「40歳からの転職術」(日経BP社)など著書多数。